

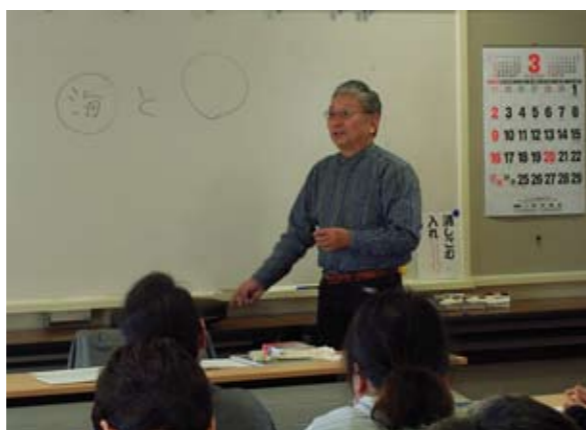


おもしろ科学教室の様子。能美中の生徒が、3枚羽根のブーメランの作り方を紹介しました。

### 科学の不思議さ・面白さを体験

3月8日（土）に、大柿自然環境体験学習交流館で、第2回ふるさと自然科学フェアが開催されました。当日は、市内小・中学校の科学発表や、広島大学の鳥越 兼治教授と学生によるおもしろトークショーなどがありました。

西原館長は、「身近な自然の中にある不思議さや面白さを紹介しあうことで、ふるさとの自然を考えるきっかけになれば」と話していました。



発想のヒントについて語る山下さん。

### 目に見えない世界を大切に 能美図書館で山下明生さん講演

3月8日（土）に能美図書館で行われたふれあい広場で、大柿町出身の児童文学作家・山下明生さんが「イマジネーションをふくらませよう」をテーマに講演をしました。

講演で山下さんは、「現実にとらわれすぎず、非現実的な世界、『目に見えない世界』を大切に考えて欲しい。能美図書館が発行している『小鳥』の収録作品は年々よくなってきているが、もっともっとイマジネーションをふくらませることを期待します」と話していました。



大きく、真っ赤なトマト。口の中で甘さが広がります。

### 地産地消バスツアーで江田島を満喫

2月29日（金）、広島市・呉市在住の39人が地産地消バスツアーで本市を訪れました。広島、山口県の13市町で構成する広島広域都市形成懇談会が、地産地消を推進するために企画し、カキ打ちやトマトの収穫体験などを行いました。ツアーに参加した人は、「カキ打ちやトマトのもぎ取りなど、普段できないことが体験できて楽しかった」「同じようなツアーがあったら、また参加したい」と話していました。



木が病気かどうか、慎重に判断して切っていました。

### 真道山千本桜で清掃活動

3月1日（土）、真道山千本桜お助け隊、能美地区公衆衛生協議会や能美町女性会会員約20人が、真道山千本桜の手入れや周辺の清掃活動を行いました。これは、花の病気であるテングス病の蔓延防止と、20日（木・祝）に行われるのうみグリーンウォーキングで、参加者に気持ちよく歩いてもらうことを目的としたものです。

当日は、テングス病にかかっている枝を切除して殺菌剤を塗ったり、道端に捨てられているごみを拾い集めたりしました。



流 政秋さん

平岡 透さん

### 旭日単光章を受章

流 政秋さん（能美町高田）と平岡 透さん（能美町鹿川）が旭日単光章を受章し、市長から伝達されました。

流さんは、旧能美町議会議員に3期12年在職し、町行政の発展に尽力されました。

平岡さんは、旧能美町議会議員を5期20年在職。在職中に副議長として、議会の円滑な運営に尽力されました。



在校生や保護者に見送られる大柿中学校卒業生。

### 小・中学校で卒業式

3月12日（水）に中学校、24日（月）に小学校の卒業式が行われ、思い出のつまった学び舎に別れを告げました。今年度卒業した児童・生徒は、小学校6年生が190人、中学校3年生が202人でした。

在校生や教職員、保護者に見守られ、式終了後の卒業生は晴れやかな笑顔を見せていました。



目を輝かせ、雪山で夢中になって遊ぶ園児たち。

### 大古保育園に雪のプレゼント

2月23日（土）、大古保育園横の空き地に、庄原市からの雪が運ばれました。これは中町地区港湾整備事業を請け負っている大歳組が、地域貢献の一環として行ったものです。

めったに見ることのない雪を目の前にして、子どもたちは大喜び。雪だるまを作ったり、そりで滑り降りたりして楽しんでいました。



協定調印式での曾根市長（左）と、マックスバリュ西日本株式会社 藤本昭代表取締役社長

### 防災活動への協力に関する協定締結

2月22日（金）、本市とマックスバリュ西日本（株）（本社姫路市）との間で、防災活動への協力に関する協定を締結しました。この協定では、地震や風水害時に、市の要請でマックスバリュ西日本が食糧や日用品雑貨を有償で供給し、マックスバリュ大柿店の駐車場を一次避難場所として提供するほか、平常時は市の防災啓発事業や防災訓練などに可能な限り協力することになっています。